

降神の神楽

神の降臨を願い、里人などの無病息災・家内安全と舞人の安全を願う舞です。

- ★神宮(じんぐう)
一人舞で扇と鈴を持っています。
- ★祝詞(のりと)
奉納の祝詞を奏上します。
- ★多玖佐(たぐさ)
三人舞いで、各々刀・弓・幣と鈴を持っています。
- ★四神(しじん)
四人舞いで鈴と幣を持っています



四 神

曲芸的な神楽

- ★相撲(すもう)
神代においては、経津主神・武御名方の神が出雲の稲佐の浜で力を合わせたのが相撲の初めとされるが、11代垂仁天皇の御前で当麻蹴速と野見宿弥が相撲をとったのが現在に受け継がれています。その再現を神楽にしたものです。



神話(伝説)を再現する神楽

- ★問答(もんどう)
鬼と翁の問答で、鬼は根の国(黄泉の国)に住むものとされ、その鬼が天神(あまつかみ)に諭される場面を神楽にしたものです。
- ★猿田彦(さるとひこ)
天兒屋根命・猿田彦・先祓神・鈿女命が登場します。
天孫降臨の場面を再現したもので、瓊々杵命が、先祓神を召され道案内をさせます。日向の高千穂の峯まで進まれ、行先が幾筋にもなって困った時、鈿女命を召し猿田彦に道先を問われる場面を神楽にしたものです。
- ★磯羅(いそら)
武内大臣・志賀大明神・豊姫命・綿津見神が登場します。
神功皇后が異国征伐をなすに当たり臣下の武内宿禰に命じ、志賀神に船を準備させ、綿津見神が持っている潮の満ち干きを自由にできる干珠・満珠の宝を、豊姫の色仕掛けの舞で珠を得ようとする場面を再現したものです。
- ★岩戸(いわと)
天の岩戸開きを再現したものです。
思兼命・素盞鳴男命・鈿女命・手力男命が登場します。天の岩戸開きを再現したものです。



磯 羅

清祓の神楽



荒 神

神・剣・米・矢などは、神の依代とされ、人や敷地などを祓い清めるものとされています。それらを手に取り、四隅を祓い清め悪疫退散、五穀豊穣を祈念する神楽です。

- ★神(さかき)
両手に榊葉を持ち、四方を祓い清める舞です。
- ★両刀(りょうとう)
両手に剣を持ち、四方を祓い清める悪魔祓いの舞です。
- ★荒神(あらかみ)
黒鬼面を付け、手桶の水で周囲を祓い清める。鬼自体が悪疫退散の意味をもっています。赤ちゃんを抱かせ無病息災を願う鬼舞です。
- ★敷蒔(しきまき)
両手に米を入れた折敷を持って舞う五穀豊穣の舞です。
- ★天神(てんじん)
二人舞で、共に弓と矢を持ち、四隅に矢を射る舞です。
- ★御弓(おんゆみ)
二人舞で、弓の舞と剣の舞があります。
- ★大山(おおやま)
四人舞いで、共に刀と鈴を持ち四隅を清め祓う舞です。



岩戸神楽とは

伏見神社に奉納されている神楽で、毎年7月14日の祇園祭の夜に行なわれます。元々は、各神社の神官たちが集まり奉納する社家神楽でした。明治維新後の神職による神楽座が廃止されたことに伴い、明治13年に地元の村人が「珍楽社」という神楽座を構成し、今日に受け継がれています。舞は全部で18番ありますが、中でも「荒神」「問答」は、鬼が境内を所狭しと駆け回る勇壮な神楽です。この鬼に抱かれた赤ちゃんは、元気に育つと言われ、当日は子ども連れの参拝者でにぎわいます。昭和29年12月13日、福岡県無形民俗文化財に指定されています。

岩戸神楽の「古面」

昭和58年頃まで岩戸神楽の舞に使われていたものです。10面とも神楽面として分類されますが、このうち7面が能面を参考にして製作されたものであり、その他能面成立以前の形式の面を参考にしたと考えられるものも混在していることがわかっています。ひとつの神楽座の中で能面系の面の占める割合が7割と大きいのは非常に珍しく、神楽面の成立過程を考える上で大変貴重な資料です。これらの面の製作年代は銘記がないため明確ではありませんが、その特徴から江戸時代中期から後期と考えられ、本町、岩戸神楽の成立を知る上でも貴重な資料といえます。

平成11年12月20日、那珂川町有形民俗文化財に指定しています。



武内大臣



事代主大神・志賀大明神



翁・天兒屋根命



豊姫命

能の形式をとる神楽



事代

- ★高所(たかどころ)
神歌を謡曲調に歌いながら、所作は仕舞である。五穀豊穰を祈念する舞です。
- ★事代(ことしろ)
事代主大神(えびす様)が、三保の海原でゆったりと釣りをしている情景を神楽にしたものです。

那珂川市教育委員会
文化振興課 文化財担当
 Tel 092-952-2092 Fax 092-952-2093

ミリカローデン那珂川
 (公益財団法人那珂川市教育文化振興財団)
 Tel 092-954-2211 Fax 092-954-3399

※岩戸神楽では、曲目のことや命和理(みことわり)といえます。

祝詞	神宮	大山	御山	天弓	敷神	荒時	両神	神刀	岩戸
	磯羅	猿田彦	問答	事代	高所	相撲	四神	多玖佐	

岩戸神楽命和理(曲目)
全曲十八番